



# 北小だより

学びいっぱい  
やさしさいっぱい  
元気いっぱい

令和7年5月9日（金）

発行者：福島市立北沢又小学校長 高橋 哲也

“よさ”や“がんばり”を“成長のエネルギー”に

子どもたちに“寄り添う学校”でありたい。

子どもたちと“心”でつながりたい。

前号にも書かせていただきましたが、今年度も全職員でこの気持ちを大切にしていきたいと思っています。

北沢又小に赴任して1か月余り、こんなことを考えながら毎日の学校生活を送っていますと、子どもたちのすてきな姿に、たくさん出会うことができました。

□ 朝、校門に立っていますと、自分からあいさつをしてくれる子どもたちの多さに驚きました。子どもたちを励ますつもりが、「おはようございます！」のさわやかなあいさつに、こちらが元気をもらっています。

校長室の戸を開けていますと、通りかかったときに「こんにちは」と、あいさつをしてくれる子もいます。とてもうれしくなります。

□ 校門前の横断歩道では、止まってくれた運転手さんに会釈をする子がいました。「えらいね。だれに教えてもらったの？」と尋ねると、「お母さん！」と答えてくれました。ご家庭での“心”を育てるお声かけ、ありがとうございます。

□ 登校中に摘んできた野花(オオイヌノフグリ)を低学年の女の子からもらいました。その気持ちがうれしかったので、校長室で水を入れたコップにさしておくと、1週間たっても小さな白い花を咲かせていました。

□ 下校後、途中で転んでケガをした友だちに付き添って、数人の子どもたちが保健室まで来ていました。友だちを心配して付き添ってくれた気持ちがうれしかったです。

何気ない姿ですが、自然にこのような行動ができる子どもたちがたくさんいます。

各担任からの子どもたちのがんばりの報告にも、いつも胸をはずませています。

これからも学校全体で子どもたちの“よさ”や“がんばり”を見取り、励ましていくことで、成長へのエネルギーをたっぷりと注いでいきたいと思っています。

ご家庭でのお声かけや励ましも、どうぞよろしくお願ひいたします。【1年生 初めての授業参観】

